

Alvaro García de Zúñiga

バラバラ戯曲

ソプラノ、サキソフォニストとジェラシー女に捧げる
音。楽作品

V.O. [FR – ES – JAP]

Le corps du délit / (El cuerpo del delito ?)

-遠い遠い (1) 昔のこと、 (2)

蝶々婦人の最後の節逆さに歌いながら一彼女の最後の才能の証、試練だった一、ソーセージをつくる大きなミキサーに飛び込んで自殺した人がいた。

それは、イタリアのミラノの歌舞伎座にソプラノ歌手で有名なノエラ ヨウタンポコ という女性。

世界的に超有名になるずいぶん前、そして

まだ未成年 (3) しかも才能の芽が出る前の頃 (4) 、ニューヨークのマンハッタンに電車に乗って揺られて通って出会った。誰に。ある男に。

- il y a un trou

-白雪姫のように全く純真であったにもかかわらず、

君キは初めて会ったその瞬間から七つのサックスを抱えて彼女を襲おうと試みた。

- Un grand trou

(1) 遠くない

(2) 昔ない

(1) そうじゃない (1)

(1) 昔話 (1)

(1) おかし話 (1)

(1) それで

(3) adolescence : f. de l'italien adolescere, manquer de, etcetera , etcetera

(4) 耳がでる

君キはトルコとギリシャの戦争のまっただ中に生まれ、23才なる家族ともどもブエノスアイレスに移住した（5）。ポケットに少しのお金と現地に住むギリシャ人失業者のコミュニティーへの紹介状を忍ばせて。まず、密造タバコ工場で働き、ギリシャ人の魚屋や初めてのキューバ人と知り合った後、タバコ工場の協同経営者になりおさまった。そして、34才になった頃には石油タンカー船を買うまでに至ったのである。

ニューヨーク拠点移し、パナマの国旗を掲げ石油輸送で一儲けしたのであった（6）。40才になると、海運王、船主、不慣れなギリシャ人の娘出合い、会ったその年の終わりにはすでに結婚をした。彼女は17才、そして彼は46才。4月には初めての息子を授かり、12月50才の誕生日を祝った。

若いヨウタンポコは知っている。狂おしいまでに彼女に恋こがれるキは妻を見捨てたりしないことを。むしろ彼はこの三角関係を気に入っている。若いヨウタンポコの代わりに38番目のアメリカ大統領を妻はパートナーに望んでいること以外においては。

スーパー億万長者の天空の下、偉大なる力と自ら放つ光をもって輝いた。大胆不敵、女たらし、手が早い、華麗な、友、そしてはらはらな敵対者。魅了しては同時に捨て去る。数年の間、彼の人生は出版界を賑わせ、世界的なセレブ界への渴望を爆発的に満たし、成功に酔いしれ、全て手にするものは金に変える（7）（サックス（サックスセックス（8））を見よ）。

（5）16才のとき、彼はクラシック音楽に出会ったのであるが、オーケストラでダンスミュージックやポップミュージックを演奏していた。彼は地方のオペラのコントラバスを学んでいた。その後、同時にしかも、古い音楽、古い吹奏楽器、中世、電気音響学、錬金術、録音技術、信号の取り扱いなどを学んだ。

必要とあらば、抵抗しがたい、素晴らしい、稀な、綿密な、直感的な、解析的な、合理的な、とんでもない、もっともつと言いたいけれどいいきれない論理で、彼は7人家族の研究をしたのである。変質、変異、変貌の研究。

（6）彼は”ギリシャの金息子”と呼ばれた。

（7）ミダス＝目だす＝耳だす

（8）君キはサックスセックスで金サクセスサクセス。身にミニミニスカートまとった女二人、四六時中七八九十時、一時、瞬間瞬間シュンシュン間、裸でサックスセックスサクセスしよう。

百万人の愛人収集家であり、大物と関係維持する収集家、彼は、ウィンストン・チャーチルの未亡人ですら親密関係持ち、公に呼びだすことができると自負する。しかし、貧しい家の出であること自ら話す者などそういない。アルゼンチンのコリエント通り348番地にある暗い宿のとても小さな部屋を借りていた頃、輸入商、そして小さなタバコ製造業者として成功する夢をみていた（9）その数メートル先には巨大なオベリスクがあった。しかしうまく何も無い。特に、巨大な男根のように。

その後、彼は船によるタバコの輸送、そして、事業のチャンスを巧みに狙う偉大な請負い業に身を捧げた。北アメリカ大統領暗殺の未亡人マリア、重要なギリシャ人海運王の娘。同時にオペラ歌手と恋愛関係の手ほどき。おかげで、世界で有数の超リッチな家に住むことになる。それは、彼女自身、そして義理の父のおかげである。彼の仕事が、海運王、不動産業、劇場、ホテル、伝説のモンテカルロのカジノまで至るのである。一緒に働く補佐はアルゼンチンの領事館（領の事のかん）との関係（かんのかかり）を持ち続けなければならないことを知っている。インターナショナルオリンピック委員のより洗練されたキックバックシステム、プラス（+）、スイスの権威あるマフィアによって、オリンピック航空券を譲歩されるのである。全ての旅行はたとえ、それが遠回りであったとしても、どんなオリンピック大会であっても、世界中におけるどんなスポーツ大会においてもこの人脈による特権によって恩恵を受けるのである。

弾丸による毒殺で死亡。

（9）2月28日にオーバーニュで生まれ、その後、マルセイユの郊外に移った。哲学修士号（まあまあの成績で）を取り、ニースに軍隊で派遣され、追い出され、ディーンとタラスコンで中学生の家庭教師になり、何度も結婚し、言語学と文学の修士課程を取り、助教授に呼ばれ、呼ばれ呼ばれて、コンドルセ中学校に呼ばれた。詩を試み、人の出会いで舞台の脚本を書き始め、筆で食べていく決心をした。先生の職をすべて辞めた。宮尾と都はお見合いした。”地方のハリウッド”を後に建設するために、オーバーニュに24ヘクタールの土地とガリグを買った。二番手のジョージルーカスになるために。SACDの委員長に任命され、1年後、ジャックリーヌ・ケネディー・オナシスに出会い、結婚した。

- il y a un trou
(- quelle mémoire)

- Un autre trou
- type de
- quel type

- cela m'érige une érection
- de quel type

- premier tour ¹

¹ il y a des érections primaires
près

présidentielles
régionales

accidentelles ¹
lingerie
soutiens

→ soyons pas primaires ↓
↓ Ne

tiens !

oui ma Reine, oui ma jolie
deuxième tour, ma dame

↓ c'est fou
↓ quel cheval
véritable
Un échec

¹ ah que si

· ac – ci
[six. ex exo.

d'entre elles
dentelles d'elles

(ssssi – e(ssss - e(ssssso))] chérie, je ris
lin l'une, lingerie l'autr

たくましい女や浮気男に人生を操られた者は、不当にも”雌虎”と名付けられた。

母の抑制された愛、そして姉の影で育ち、家族の宝とされていた、ジャッキー《レイナ》は美しく、愛らしく、聡明。ヨウタンポコは醜く、太っちょ、不器用、冷淡。醜いアヒルの子。彼女の母は、娘を女流声楽家にさせたかった。

彼女は娘に歌と音楽とピアノのレッスンに通わせた。（内容はバラバラ）

ヨウタンポコは母の注意を引こうと姉を模倣し、並外れたアーティスティックな才能を発揮し始めたのである。彼女はすぐに異常なまでに並外れた天才少女となり、決定的な才能を見せつけた。10才で舞台に出始め、いくつもの歌のコンクールで賞を勝ち取り、食べ物を持ち帰り、オペラではいくつも主役を演じ、プリマドンナになった。そして爆発的な絶賛を浴びた。が、ジェラシーもあり、とても憂鬱な時期に突入し、いくつもの障害に出会った。劇場の門を叩く、世界的に有力な人物に出会う、ぼろぼろになる、自信を失う、が、出会って、出会った人物が彼女を信用し、不当な契約を結んだ。それでもヨウタンポコは喜んだ。

幸せの再来。

彼女は存在した。狂喜した。感じた。出会った。影響した。持ってきた。持っていった。助けた。興味を持った。

彼女の胸は整っていた。目はいきいき。

ワルキューレを見事に表現しながらも、上演中、胸をむりむり無理矢理切ったスキャンダルで伝説の人となった。リッチで有名になった。それは、脅しによって手に入れた。初めての契約で大きな成功を収め、ミラノの権威ある歌舞伎座で166のオペラをノンストップで歌った。そこで、プリマドンナとなり、一攫千金を狙った。

出演料は毎年値上がった。このせり上げは最後にはもううんざり。評判を落とすために彼女は自身の芸術のためだけに生きることを決めた。彼女の芸術と美貌の最高潮を追求しながら（痩せ細り、何百もの整形手術を行った）。なぜ嫌悪に満ちあふれた旋風がどこまでも彼女についてまわるのか理解できずに。週刊誌は絶えず、彼女の私生活をかぎまわり、リリック、クリティック、上演ごと、歌うごと、革新ごと、熱烈な喝采ごと、酷評、酷評。

衰退

ヨウタンポコの衰退の原因は、彼女を酷使し、巨額の金を要求した、国際経済のエージェントの低下にある。スキャンダル。金銭。そして不幸。病気。大統領を迎えた舞台の前で突然立ち去り、スターのわがままにより恥をかかせた。

そらっ。解雇。

しかし、バーン！ルドルフという名の冴えない歌劇場の支配人がキ君を紹介し、長い間（11）彼女に言いよった。ヨットに誘い、彼女のためにパーティーを開き、慣れないほどまでに彼女に尽くしまくった。

”しばらくの間”舞台から身を引いた。正真正銘の伝説の人。素晴らしさ失うものは何もなく、依頼される舞台を完全に拒否。カップリプリプリ気ままな大スター、カプリ島で休息。全く出演しない舞台にすべてが支払われ、観客は代金も全く返金されなかった。エージェントはソレントで彼女を再び見つける。意気消沈、多くの疑惑、大量のアルコールに大量の薬。「名声など信用しないわ」と彼女は気持ちを明確に明言。

しかし、やっと復帰。10月25日のハンブルグでのピアノの舞台、驚くべき連続のキャンセル。マドリッドからアムステルダム、パリからニューヨーク、そして11月11日、日本の札幌に至るまで追いかけてゆく。光り輝くヨウタンポコは言いよる熱烈なファンに会う。このたくさんのファンにとって、直接、目の前でキャンセルを表明するアイドルを見るのが初めてであるだけに、一層多くの集団精神錯乱。世界中の38の舞台で、同様に熱狂した集団の中で繰り広げられる。

しかし、喝采と腕にかかえた花束の向こうで、彼女の声がすり切れた声、引き裂かれた影、過去の苦しみでしかないということを証明する。最もであり、全く満足していない。

（11）チャーリー・パーカー。君キとの共通の友。一緒によく演奏し（二人君はクンテンポラリー）、亀のスープ女王、マリア・ガラパゴス主催によるリッツでの大きなパーティー紹介。

- un trou

- un moment de fatalité

- et woops !

- une (toute) petite mort

- un autre trou

(un gros trou)

- j'ai un trou

- j'ai un trou

- j'ai un trou

(Jean Rotrou)

ハバナのとても有名な音楽一家に生まれたジャケスタ・ポトゥクエンタはとても早く、彼女の宿命と直面する。司法占星術の身分証明書によると、差し迫った乱入の裏をかくのは明らかに美し島のクロコディル・ドラコステを脅した彼女であると見える。キューバのシークレットサービスの一員であり、襲撃を止めるため、彼女使命のためアメリカ大統領殺した（12）。

18の年、完全アルコール中毒、嫉妬深く、肉体的にも度を越した夫と結婚。ジャワ、スマトラ島へ発つ。マレーシナイの名の女の子が誕生。マレー語を学んだり、感化されるジャワ島のダンサーを観察したり、のに多くの時間を費やす。結婚は長年の結婚により悪化、別居、離婚。娘会えるよう申し立てようとする、ナイ、しかし、ナイ・サクセス。（13）

絶望によって新しい人生を探す。パリでクルクルダンスとストリップという名の芸術に身を捧げる。「こんなにうまく踊れたないわ。みんなに私見に来る。だって公衆の面前で裸になるのはぼくが初めてなんだ。」と彼女。

新しい過去を作り上げた。ハバナのとても有名な一家に生まれ、母はトロピカルダンサー（寺院の）で、出産同時なくった。アメリカインディアンの文化の詳細については何も知らず、ヨーロッパを人々は本当話と受け入れた。

（12）ソ連とアメリカは当時、ミサイルの失敗での冷戦状態。最初に起こったのはキューバでの経済恐慌。キューバの将棋倒し、将棋の《ドミノ効果》避けようと、アメリカ政府はポーカーの一手出した。ラテンアメリカの政府の強化に46000ドルの支援プログラム。同時にこの活動を維持するために、ボーク湾に上陸し、カライブ諸島を侵略しようと試みるマイアミに亡命したキューバ人グループの援助放出数百万ドル。何のことは知っている。それでも、エピソードが全くもって重要なものとみなされるだろうが、アメリカの偵察機によって、島で発見。攻撃のリモートコントロールされた葉巻の設置。その反応は、40年後も浮かれ調子で、ロールロール葉巻、リモート・コントを分解するまで、ラコステ島を完全に封鎖するよう命じることである。

（13）しかし、ナイ。ナイ。サクセス。ナイ・サクセス。

その後、彼女は次から次へとリッチな男と同棲した。ロジェ・ヴァディムと知り合いースパイの容疑をかけられていたマラコフのある男ドイツのために《Ich bin eine Berliner》というフレーズを残してパリでロマンチックに別れる。(14)

複雑な措置体制を組み、陰謀、陰謀の対策と反対策、“レイナ”という異名のついた彼女はマルセル・パニョルの妻よって行われたかのように、ついに、テキサスで大統領を暗殺。

“レイナ・デル・ユウフレーズ”というフレーズ(15)。ジャケスタージャッキー、内輪で呼ばれる一は、最大の挑発に打ち勝つことができる。ゲリラ部隊にたてるアルゼンチン人を探すためにブエノスアイレスに着く。ジャッキー“エスプレنديド”に成り代わり匿名でタバコ製造者と接触した。ここでキ君を聞く(16)。お互いに惹かれあい、愛のコリーダのように。

君(17)を魅了するためにギリシャ・レバノンの大物の娘のように演出する。すぐその後、結婚。新婚旅行は限りないもののようにみえた。しかし、数ヶ月後、性交は中断する。君、キは演劇の社会保障のお世話になるまだ無名のスターの卵、ノエラヨウタンポコに出会い、彼に(18)傾き(19)、彼女の策略の極度の複雑さに終わる。ジャケスタは愛人を陥れようと企む。ライバル妨げるため、演劇の社会保障の改革案を明かす。そして死ぬほどまで

(14) テレビのように拡大するメディアの多くの利用は、ラジオ放送のスピーチより人気を上げる。マックルーアンに言わせると、ジャケスタ・ポルトウクエンタは彼女が彼女自身そのもので、多くの電気家政婦のおかげで世界の前衛のように、自分自身が見える社会のただ中の変化や革新の象徴を援助する人としてのイメージを持つ限りにおいて、まさにこの時代を反映する。

(15) “ユウフレーズ”=というフレーズ

(16) 全く偶然に《レイナ》は君キにはじめて会う。海に面した美しい眺めのマレコンの正面のアパートで、突飛なボレロの歌に招かれ、Delirio Habanero の歌まで昇天した。

(17) キ

(18) キ君じゃない、ヨウタンポコ

(19) キに。君。そこ、そこ。

の嫉妬によって、大統領を招いたミラノの歌舞伎座の舞台上でヨウタンポコに毒をもろうとするが、失敗に終わる。フランス政府はインドシナでの多くの兵隊を死に追い込んだかどで起訴し、ミュルロアの核実験の際の放射線により処刑。

ばらばら（20）でバカなキ君は、二人の女は互い（23）のことなど全く知らない（22）と確信（21）していた。

しかし、それどころか反対（24）であった。ある日君は（25）熱烈に演奏（26）している時、白状しなければならなかった。

- Mais si ce n'était qu'

- une petite histoire de cul

et quelle histoire !

quelle belle histoire !

et quel beau cul !

- ばらばらで空のキは君、熱烈白状。

- Et tout d'un coup

（20）戯曲

（21）隠して

（22）全くしなrai

（23）かわいそうな

（24）それとところ

こころとそれ

こころてん

ところてん

（25）誰？キ？

（26）炎上

(de feu-Lui
de Ki
de feu Pièce à Con
- D'un coup les deux filles dans la même pièce
de fil espèce
d'espace
et moi comme un con
comment faire,
avec tous ces engagements professionnels)

二人女は男を同意もと分かち合っている間、小さな会談をした。

(トゥパク・アマルを覚えているか?)

まるで正真正銘のなんとか機械。

ヨウタンポコは(キノ。君キノ。)心を独占、ジャケスタはセックスの寵愛の権利を認めている。ふたりからの。

そして、俺。そう、さかなヴィクトールのように。

- Mais quelle surprise tout d'un coup.

- Et quelle surprise tout d'un coup.

un coup de balle

d'un coup de balle

un trou

un trou de balle

un trou de balle au cul

pour une toute petite histoire de cul

quelle histoire !

c'est très beau tout ça

balle au cul !
trou de balle, mon cul !
Trou de balle !! trou due, tradue, traduction
trou de balle de match
Balle de match !! t'as dix balles ?
Sex - trois
sax - deux
six - eux
soux
sous²

(27) 裁判官！理論上、シンプルでかつ複雑な経験や知的な構築は、複雑な芸術表現の内在的な可能性によって方向付けられた経験から生じる確かな考えを実際に構成されると思われる。
彼女は写真写りが素晴らしくいい。少なくともこれで臭くない。

- No tenía ni para empezar conmigo. Yo no se que le veía.